

平成27年度第1回海域ワーキンググループ会合における 主な意見と対応状況

1 海域管理計画モニタリング項目評価シートについて

評価項目	主な意見と対応状況	発言者
水温	<ul style="list-style-type: none"> ■ 羅臼側の水温について、経年的な変化が見えるデータを掲載 →P10～11に掲載 (出典：岡崎遼太郎、北海道大学大学院水産科学院・修士論文H26年) 	桜井座長
サケ類	<ul style="list-style-type: none"> ■ 水産現勢のデータは一年遅れ。カラフトマスやサケも含めて非常に変化が激しいことから、連合海区委員会の最新データがあれば掲載する。 →H27年12月に発行された「H26年 北海道水産現勢」のデータに更新 (P19～26) 	桜井座長
スケトウダラ	<ul style="list-style-type: none"> ■ 国の評価資料が9月に公表後、全体のデータを更新 →更新 (P31～33) 	志田委員
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 漁獲量については、水産現勢の確定値が平成25年度のものまでなので、速報値という形で暫定値を整理。 →H27年12月に発行された「H26年 北海道水産現勢」のデータに更新 (P31～33) 	志田委員
トド	<ul style="list-style-type: none"> ■ 漁業被害の状況について、可能であれば根室振興局管内のデータを掲載 →P36に掲載 	桜井座長 山村委員
社会経済	<ul style="list-style-type: none"> ■ 「サケマス釣り利用者数」とあるのは、「羅臼側の渡船による釣り利用者数」へタイトルを変更すべき →P70の表11-12、図11-25のタイトルを変更 	永田委員
	<ul style="list-style-type: none"> ■ サケマス釣り利用者数のデータについて、斜里側も必要 →P70 ウトロ沖秋さけライセンス遊漁者数(延べ数) を掲載 (出典：網走海区漁業調整委員会) 	永田委員
	<ul style="list-style-type: none"> ■ この項目は、自然と人間社会の共生という観点からのモニタリング。項目の掲載順等を一度整理する。イベント数などは〈文化振興〉の中で整理。 →P75～78に掲載 	牧野委員
全体	<ul style="list-style-type: none"> ■ データの出典が明らかなものについては、できるだけきちんとそろえる。 →出典の確認・明記 	桜井座長
	<ul style="list-style-type: none"> ■ 掲載データは、H26年度又は最新のものにする。最新データについては、引用できるものがあれば、入れ込むよう努力する。 →H26年度又は最新のデータに更新 	

2 長期モニタリング計画評価調書について

評価項目	主な意見と対応状況	発言者
トド	<ul style="list-style-type: none"> ■ モニタリング項目No.⑥については、遺産海域を考える上での北海道周辺へのトド来遊数のモニタリングに対する評価であることから、「評価基準なし」としてはどうか。 →「評価基準なし(自然環境等の変動を把握し、様々な施策の検討の際の基礎的な情報を収集するためのモニタリング)」に変更 (P39) 	山村委員